

1. 議事

(2) 金剛地区再生指針推進の取組について (令和元年度下半期)

1. 居場所づくり

- (1) 拠点づくりプロジェクトの進捗
- (2) 情報発信(ひろとん・ニュースレター)

1. 居場所づくり

(1) 拠点づくりプロジェクトの進捗

拠点づくりプロジェクトとは？

地域住民の居場所となる拠点づくりのために、

- ① 拠点となる場所を探す(空き家や空き店舗など)
- ② 拠点を使用する方法を考える(借用方法など)
- ③ 拠点を活用する仕組みを考える(日替わりオーナーカフェなど)

(目的)

- ・常設の子どもから高齢者まですべての世代の居場所づくり
- ・担い手の拠点としての居場所づくり

1. 居場所づくり

(1) 拠点づくりプロジェクトの進捗

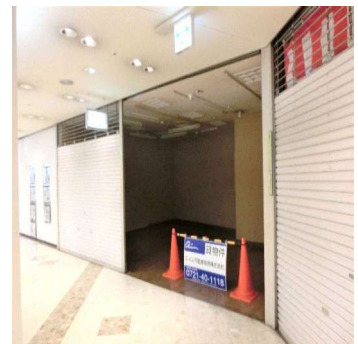
① 拠点となる場所を探す(空き家や空き店舗など)



金剛銀座街商店街空店舗



久野喜台 Café&Lunch口ペ



ショッピングモール 空店舗



金剛銀座街商店街空店舗



高辺台 空店舗



久野喜台 空店舗⁴

1. 居場所づくり

(1) 拠点づくりプロジェクトの進捗

① 拠点となる場所を探す(空き家や空き店舗など)



久野喜台 空店舗



久野喜台 空店舗



久野喜台 空家



高辺台空店舗



寺池台 空家

プロジェクトメンバーで
手分けして探すも、
難航……

1. 居場所づくり

(1) 拠点づくりプロジェクトの進捗

② 拠点を使用する方法を考える(借用方法など)

プロジェクトメンバー有志で、**一般社団法人わっく金剛**を設立

- ・ 初期費用等の拠点運営のための補助金・助成金獲得を念頭に。
- ・ 法人名義での物件賃借が可能に。
- ・ 設立時社員は、8名。
- ・ 今後、法人メンバーのみで会議を進めるわけではなく、カフェ運営等に関する会議は、従来通りプロジェクト会議で行う。

<p>【1 一般社団法人定款記載例】 (簡略型) 理事1名(理事長・監事・会計監査人・基金非設置)</p> <p>一般社団法人 「ワック金剛」と称する。</p> <p>第1章 総則</p> <p>(名称) 第1条 当法人は、一般社団法人 「ワック金剛」と称する。 (主たる事務所) 第2条 当法人は、主たる事務所を大阪府富田林市に置く。 (目的) 第3条 当法人は、全ての人々が生き生きと暮らせる地域づくりを進めることを目的とし、その目的に資するため、次の事業を行う。 (1) 福祉、医療又は福祉の増進をはかる事業 (2) まちづくりの推進を図る事業 (3) 学術、文化、芸術又はスポーツの振興を図る事業 (4) 子どもの健全育成を図る事業 (5) 経済活動の活性化を図る事業 (6) 職業能力の開発又は雇用機会の拡充を支援する事業 (7) 環境の保全を図る事業 (8) 前各号に掲げる事業に附帯又は関連する事業</p> <p>(公告) 第4条 当法人の公告は、当法人の主たる事務所の公衆の見やすい場所に掲示する方法による。</p> <p>第2章 社員</p> <p>(入社) 第5条 当法人の目的に賛同し、入社した者を社員とする。 2 社員となるには、当法人所定の様式による申込みをし、理事の承認を得るものとする。 (社員の資格喪失) 第6条 社員が次の各号の一に該当する場合には、その資格を喪失する。 (1) 退社したとき。</p>
--

1. 居場所づくり

(1) 拠点づくりプロジェクトの進捗

③ 拠点を活用する仕組みを考える(日替わりオーナーカフェなど)

日替わりオーナーカフェの仕組みを中心に、誰もが集える常設の拠点づくりを進める。

(プロジェクト参加者募集チラシ)



金剛のまちに新たな風を吹かせたいあなたへ

金剛に常設拠点をつくる参加型プロジェクト!

金剛のまちに多世代、また金剛内外の人たち誰もが集える常設拠点を、その拠点から新たな発展や、可能性がある自由な空間を参加型プロジェクトで創り出します。あなたにできる形でプロジェクトに関わりませんか?

その1 商談の場を資金面で応援!
だれでも、いつでも、気ままに立ち寄れる、みんなの居場所をつくれます。1,000円の寄付で運営を応援、特典として〇〇をプレゼント。

その2 カフェまたはショップのオーナーとして参加!
自分の作ったパンを誰かに食べてもらいたい、こだわりの商品を売りたい、思いどくならカフェを開いてみたい...など、様々なオーナーたちが日替わりでいるCafeです。共通のドリンクメニュー以外は、オーナーのアイデアと工夫によって自由に展開できます。ハンドメイドが得意な人は、ボックスショップのオーナー。あなたの得意をいかして、誰もが集える居場所・空間づくりをしませんか? 詳しくは裏面へ

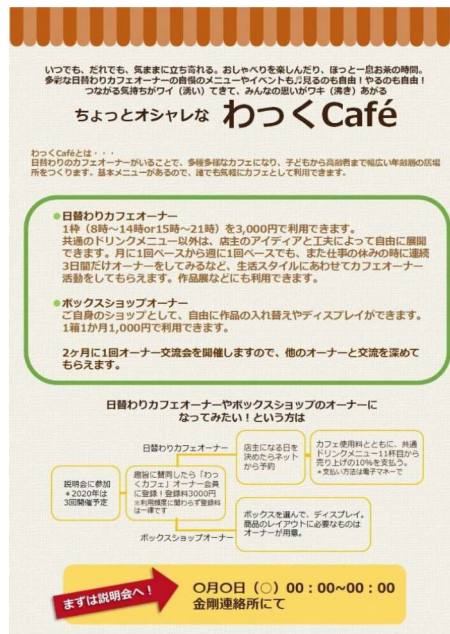
その3 ボランティアとして参加!
法人主催の企画のお手伝い、DIYメンテナスのお助けメンバーとして参加。
わくわくすることと一緒に始めませんか? 皆さんの応援・参加をお待ちしています。

外観写真

お問い合わせはこちら

一般社団法人 **わっく金剛** 地図入る

TEL: MAIL:



いつでも、だれでも、気ままに立ち寄れる。おしゃべりを楽しんだり、ほっと一息お茶の時間。多彩な日替わりカフェオーナーの企画のメニューやイベントも楽しめる常設の「ゆるい」ゆるいも自由! つながる気持がワイ(楽しい)きて、みんなの思いがツキ(幸せ)あがる

ちよっとオシャレな **わっくCafé**

わっくCaféとは...
日替わりのカフェオーナーがいることで、多種多様なカフェになり、子どもから高齢者まで幅広い年齢層の居場所をつくれます。基本メニューがあることで、誰でも気軽にカフェとして利用できます。

●日替わりカフェオーナー
1枠 (8時~14時or15時~21時) を3,000円で利用できます。
共通のドリンクメニュー以外は、店主のアイデアと工夫によって自由に展開できます。月に1回ペースから週に1回ペースでも、また仕事の休みの時に連続3日間だけオーナーをしてみるなど、生活スタイルにあわせてカフェオーナー活動をしてもらえます。作品展などにも利用できます。

●ボックスショップオーナー
ご自身のショップとして、自由に作品の入れ替えやディスプレイができます。1箱1か月1,000円で利用できます。
2ヶ月に1回オーナー交流会を開催しますので、他のオーナーと交流を深めてもらえます。

日替わりカフェオーナーやボックスショップのオーナーになってみたい! という方は

日替わりカフェオーナー
店主になる日を決めるネットから予約

ボックスショップオーナー
ボックスを届けて、ディスプレイ、商品のレイアウトに必要なものはオーナーが用意。

※カフェ利用とともに、共通ドリンクメニュー11種目から取り上げたいものを注文。
※支払い方法は電子マネーです。

※利用料に送料3000円 ※利用料に送料3000円 ※利用料に送料3000円 ※利用料に送料3000円 ※利用料に送料3000円 ※利用料に送料3000円

まずは説明会へ! ○月○日(○) 00:00~00:00 金剛連絡所にて

1. 居場所づくり

(1) 拠点づくりプロジェクトの進捗

③ 拠点を活用する仕組みを考える(日替わりオーナーカフェなど)



- 日替わりカフェオーナー
1枠 (8時~14時or15時~21時) を3,000円で利用できます。
共通のドリンクメニュー以外は、店主のアイデアと工夫によって自由に展開できます。月に1回ペースから週に1回ペースでも、また仕事の休みの時に連続3日間だけオーナーをしてみるなど、生活スタイルにあわせてカフェオーナー活動をしてもらえます。作品展などにも利用できます。
- ボックスショップオーナー
ご自身のショップとして、自由に作品の入れ替えやディスプレイができます。1箱1か月1,000円で利用できます。
2ヶ月に1回オーナー交流会を開催しますので、他のオーナーと交流を深めてもらえます。

1. 居場所づくり

(1) 拠点づくりプロジェクトの進捗

カフェ設置場所については、引き続き検討中だが、その他の課題も……

補助金・助成金の申請や
寄付の声かけ等は別途
進める。

予算についての課題

(カフェ運営1年目の支出と収入についての想定)

<支出>

- ・ 初期整備費：300万円
- ・ 家賃：42万円(3.5万/月)
- ・ 施設運営費：36万円(3万円/月)
- ・ 消耗品：24万円(2万円/月)
- etc.....

合計 402万円

<収入>

- ・ オーナー使用料 72万円+12万円
(3000円/枠×20日×12ヶ月)
- ・ 共通メニュー売り上げ 36万円
(1000円/枠×10人×12ヶ月)
- ・ 共通メニュー売り上げ 36万円
(150円/杯×10人×20日×12ヶ月)
- ・ 自主事業 20万円

合計 140万円

収入については厳しい部分があるため、補助金や助成金、
寄付の声かけだけでなく、自主事業についても、企画が必要。

1. 居場所づくり

(2) 情報発信(ひろとん・ニュースター)

市民公益活動PRの場である「市民活動わくわく広場in富田林(通称:ひろとん)」での、
まちづくり会議PR資料の掲示

- ・ 情報発信プロジェクト会議にて、
掲載内容の検討及び作成を
進める。
- ・ 掲載準備も、当日プロジェクト
メンバーにて行う。

<主催>

富田林市市民公益活動支援センター

<日時>

2020/2/16(日) 11:00~17:00

<会場>

エコール・ロゼ

<来場者数>

約1000人

<参加団体>

約70団体



1. 居場所づくり

(2) 情報発信(ひろとん・ニュースレター)



「金剛地区まちづくり会議」の活動テーマである情報発信の一環として

ニュースレター「にぎわい金剛」を発行。

3月末にもニュースレター発行予定。

(1) 予算等

- ・印刷製本費: 市委託金から支出
- ※年2回発行(過去5回発行済み)
- 印刷製本費(1回分) = 17,100円/4,000部

(2) 編集・発行等

- ・まちづくり会議(情報発信プロジェクト)が中心となって、編集・発行等を行っている。

(3) 配布方法

- ・各施設への設置
- ・町会への配布依頼
- ・まちづくり会議有志による配布

(4) 3月発行分の内容

- ・軽トラマルシェリニューアル
- ・まちの居場所マップ
- ・総合まちづくり部会の活動
- ・ロペカフェの運営について
- ・拠点づくりプロジェクトコラム

2. イベント企画

(1) ・金剛バル☆WinterLand

- ・親子ふれあい祭り
- ・金剛きらめきイルミネーション

協力

(2) ペットボトルツリー設置

(3) 軽トラマルシェ

(4) ポップコーン等の販売売上について

2. イベント企画

(1) 金剛バル☆WinterLand・金剛きらめきイルミネーション・親子ふれあい祭り 協力

① 金剛バル☆WinterLand2019&金剛きらめきイルミネーション

- ・まちづくり会議メンバーが、バル前日準備に参加。(まちづくり会議からは7名参加)
- ・イルミネーション終了後の2/10には、ふれあい大通りを清掃。(まちづくり会議からは5名参加)



金剛バル☆WinterLand2019

バルやステージイベントなど

<主催>

金剛にぎわい創出実行委員会
(地域の事業者が中心)

<日時>

2019/11/24(日) 15:00~20:00

<会場>

金剛中央公園

<来場者数>

約3800人

金剛きらめきイルミネーション

金剛駅前のふれあい大通りにて、
金剛バル開催日から1/17まで点灯。

※市が運営。

2. イベント企画

(1) 金剛バル☆WinterLand・金剛きらめきイルミネーション・親子ふれあい祭り 協力

② 親子ふれあい祭り

まちづくり会議メンバーは、ポップコーン・わたがしの販売やペットボトルツリーの設置、会場誘導整理などに参加。



移動ミニ動物園や縁日ブースや
ゲーム、バザー、ペットボトルツ
リーなど

<主催>

金剛銀座街商店会

<日時>

2019/11/24(日) 12:00~17:00

※金剛バルと同日

<会場>

金剛銀座商店街

<来場者数>

約1200人

<メンバー参加者数>

7人

2. イベント企画

(2) ペットボトルツリー設置



主体: 金剛地区まちづくり会議
場所: 金剛銀座商店街
協力: 商店主であり会議メンバーである方が、金剛・金剛東地区の17の幼稚園・保育園等に声掛けし、金剛バルのペットボトルツリー作成依頼とあわせてペットボトルツリー作成の協力を依頼。
設置作業: まちづくりメンバーを中心に12名で行う

15

2. イベント企画

(3) 軽トラマルシェ



富田林市の生産者による野菜や、雑貨等の販売をはじめとした催し。

<主催>

金剛地区まちづくり会議

<日時>

毎月第4土曜日の午後

※野菜販売は、夏季16時～、冬季15時～

<会場>

金剛銀座商店街

<来場者数>

毎回100人前後

前年度より、まちづくり会議からのお手伝いスタッフが増えたが・・・

<課題>

出店者数が少ない。

来場客数が減ってきている。

夏場は野菜が少ないときがある。

毎月開催はしんどいとの声がある。

16

2. イベント企画

(3) 軽トラマルシェ

(軽トラマルシェあり方検討会議の開催)

来年度の開催可否も含めて、今後の軽トラマルシェ開催について話し合う。

参加者: まちづくり会議、富田林市の農業を創造する会、伏山台校区福祉委員会、金剛銀座商店会



- ・来場者数が少ないことにより、出店者の意欲が低下している。
- ・来場者数を増やすためには、もう少し工夫が必要。
- ・農家さんとしては、ビジネスと考えると現状は厳しい



- ・農家さんとしても、金剛地区を盛り上げたいという気持ちを持っている。
- ・新規就農者にとっては、月一回でも販売できる場があるのは嬉しい。
- ・周知方法を工夫すれば、集客を図れるのでは。

(結論)

来年度も月一回の定期開催を続ける。
 チラシのリニューアルやコンテンツの刷新を検討。

2. イベント企画

(4) ポップコーン等の販売売上について

まちづくり会議が開催する軽トラマルシェや親子ふれあい祭りなどの地域のイベントにもお誘いを受けて出店することで、販売売上を積み上げてきた。

年度	出店場所	出店内容
H28	金剛バル	オムフランク、飲み物
H29	金剛バル	フランクフルト、飲み物、
H30	親子ふれあい祭り	ポップコーン、飲み物
H31(R1)	親子ふれあい祭り	ポップコーン、わたがし、飲み物
	軽トラマルシェ	ポップコーン
	その他地域イベント等	ポップコーン

売上が積み重なり、現在約9万円の余剰金あり！

2. イベント企画

(4)ポップコーン等の販売売上について

○売上金の活用について

- ①拠点プロジェクトで設置予定の備品の購入費用
- ②軽トラマルシェの新しいチラシの印刷&折り込み費用

などなど・・・

案が出てきているので、活用を検討。

詳細は、第5回全体会で決定予定でしたが、延期に。



活動による予算の確保&予算の活用を実現していく。

19

3. 総合まちづくり

- (1)定期的な会議の開催
- (2)市民と公園がつくりだす都市や地域の魅力勉強会開催

20

3. 総合まちづくり

地区の課題を認識し、ハード・ソフト、短期・中長期、地域的・広域的な各種取組みの総合化を図り、金剛地区の再生を推進するための検討を深める。

(1) 定期的に会議を開催

- ・当面の活動目標、新たな参加者の募集、他の取組テーマ等との連携について議論。
- ・青少年スポーツホールのあり方(再整備、多機能・複合化等)について議論
⇒メンバーが作成した、夢と希望を込めたスケッチを基に...



(2) 身近なプロジェクトの実施

- ・市民と公園がつくりだす都市や地域の魅力勉強会(R2.1.18)

(テーマ) 市民と公園がつくりだす都市や地域の魅力
(講師) 大阪府立大学名誉教授 増田 昇さん
(参加者) 14人

- ・都市公園の中での展開事例 =「堺自然ふれあいの森」
「高槻市安満遺跡公園」
- ・私有の里山での展開事例 「箕面市山麓保全」

大阪府内の公園を事例にご講演いただき、その後、活発な意見交換を行いました。



4. 防災活動

寺池台小学校区防災訓練

4. 防災活動(寺池台小学校区防災訓練)

地域の防災意識の向上と防災にかかるゆるやかなつながりを目的として、校区防災訓練を実施。

(取組経緯) ※H29年度～

1年目 学校が主体となって実施

2年目 地域主体の訓練として実施(H30年度)

3年目 より充実した地域主体の訓練実施に向けて
校区の自治会やキーマンに声掛けをし、

「寺池台小学校区防災訓練実施連絡会」を設置

訓練を企画(5回の会議を開催)
※訓練内容、周知、役割分担等について検討。

新型コロナウイルスの発生

(対応)

- ・緊急に実施連絡会を開催し、訓練2日前に中止決定
- ・あわせて、中止の連絡体制や当日の対応について確認を行った。

⇒組織があることで、対応や意思決定がスムーズに！

(当日)

連絡会委員が参集し、防災無線、ハンドマイク、看板設置等により、中止の周知にあたりとともに、来年度の開催に向けての意思確認を行った。

地域団体・住民が主体となり企画・運営する訓練を目指し開催。

<主催>

寺池台小学校区防災訓練実施連絡会(校区の自治会、各種団体等で構成、令和2年に発足)

<日時>

令和2年2月22日(土) 9:00～12:00

<場所>

寺池台小学校

<参加者>

目標250人(昨年度は約170人)

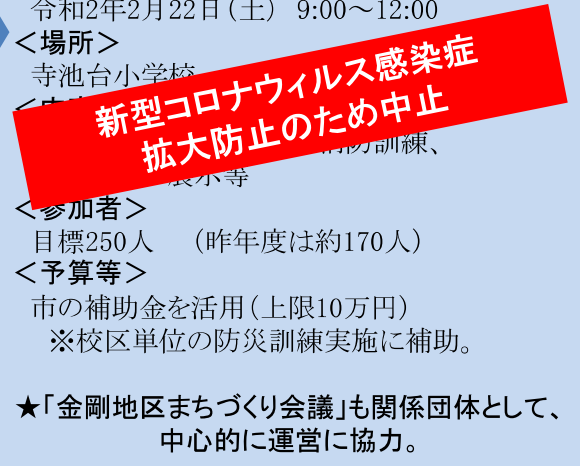
<予算等>

市の補助金を活用(上限10万円)

※校区単位の防災訓練実施に補助。

市の補助金を活用(上限10万円)
※校区単位の防災訓練実施に補助。

★「金剛地区まちづくり会議」も関係団体として、中心的に運営に協力。



校区のゆるやかなつながりが築かれており、防災意識の高まりが実感できた。

5. その他

まちづくりサポーター育成講座
寺池公園(まちの話題)

まちづくりサポーター育成講座

- 寺池公園をフィールドとして、「公園づくり」からはじめる「まちづくり」をテーマに、新たにまちづくり活動に参加していただく**人材の発掘や育成**を目的として開催。
- 講座終了後は、受講生に、「まちづくり会議」への参加をなど、**まちづくり活動**に関わっていただけることを期待。

主催:市(まちづくり推進課)
講師:NPO法人里山倶楽部 寺川さん

第1回 寺池公園の魅力を発見しよう

フィールドワークを通じて、寺池公園の課題や可能性、新たな魅力を共有しましょう。

第2回 公園活用の企画を考えよう

寺池公園の活用や魅力向上のために、自分たちで何が出来るか考えてみましょう。

第3回 企画を実践してみよう

これまでに考えた寺池公園を魅力いっぱいにする企画を実践してみましょう。



2019 連続3回講座
まちづくりサポーター育成講座

「公園づくり」からはじめる「まちづくり」
本講座は、住民主体のまちづくりやその手法等を学び、まちづくりの担い手となる人材の掘り起こしや育成を目的として開催します。
今年度は、金剛地区の象徴的なスポットである**寺池公園**をフィールドとして、自然なレクリエーションの噴水水辺と緑を楽しめる**公園づくり**を選び、まちづくりについて学びます。

1. 寺池公園の魅力を発見しよう
10月26日(土) 9:30~12:00
フィールドワークを通じて、寺池公園の課題や可能性、新たな魅力を共有しましょう。

2. 公園活用の企画を考えよう
1月25日(土) 9:30~12:00
寺池公園の活用や魅力向上のために、自分たちで何が出来るか考えてみましょう。

3. 企画を実践してみよう
3月開催予定
これまで考えた寺池公園を魅力いっぱいにする企画を実践してみましょう。

※3回の講座受講後、実践の場として4月初旬に寺池公園周辺で行われるイベントに参加予定。
※日時・内容は、都合により変更する場合があります。
※持ち物、集合場所等は別途、別途受講者に案内します。

対象:まちづくり活動に興味がある、市内在住・在勤・在学の人
※寺池地区(高江台・久野裏谷・寺池台)を主なフィールドとしてまちづくり活動を実践していただく人。
定員:20人 ※3回全ての受講を原則とします。※申し込み多数の場合は抽選。
会場:金剛徳福所2階ホール、寺池公園 ※場所は都合により変更する場合があります。
講師:寺川 祐子さん(特定非営利活動法人 里山倶楽部)
申込方法:令和元年10月16日(水)18時(印刷日)までに、住所・氏名・年齢・電話番号を、富田林市まちづくり推進課(〒584-8511 富田町1番1号、TEL:0721-25-1000(内線452) FAX:0721-24-0269、Eメール:matidukuricity.tondabayashi.jp)へ

まちづくりサポーター育成講座

第1回目

日時:令和元年10月26日(土)9:30~12:00 参加者:9名(子ども1名含む)
内容:寺池公園の魅力・課題の発見・共有、公園活用の企画アイデアづくり



①フィールドワークで、寺池公園の**魅力**や課題を**発見**。



②ワークショップで**魅力**や課題を**整理**。

③公園活用の**企画アイデア**を出し合う。

第2回の講座では、公園内の樹木に興味を持っていただくために、「**樹種プレートづくり**」を行うことに決定しました。

まちづくりサポーター育成講座

第2回目

日時: 令和2年1月25日(土)9:30~12:00 参加者: 8名(子ども1名含む)
 内容: クラフト(間伐材を使った樹種プレートづくり)



①ノコギリやナイフを使い、雑木林を手入れ。樹種プレート用の樹木を剪定。



②一人一つずつ樹種プレートを作成。公園内の主な樹木に設置。

公園を訪れる方が、樹木に興味を持ったための、きっかけ作りをすることができました。一時間程の作業で、作業前よりも差し込む光の量が増え、公園内の雰囲気明るく変わりました。

新型コロナウイルス感染症の発生により、第3回の講座を書面開催とし、まちづくり活動について学んでいただくこととしました。

まちづくりサポーター育成講座

第3回目

日時: 令和2年3月13日(日)~25日(水) 参加者: 10名(子ども1名含む)
 内容: 寺池公園でやってみたいと思う、まちづくり活動の企画提案

現在、企画提案を受付中

- 巣箱作り&野鳥観察
- 伐採等による、水辺を臨める空間づくり & 食事(バーベキュー、ランチ)

※3月18日時点受付分

< 企画提案シート >

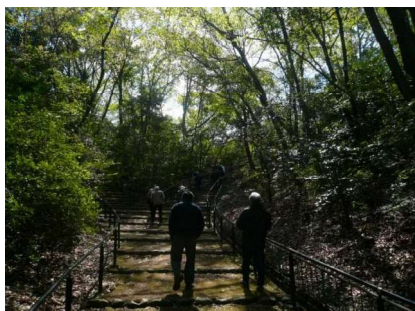
テーマ	(タイトル、キャッチフレーズ など) *	この企画の こだわりポイント	
企画のねらい	(目的、体験の主旨、感じてほしいこと など) *		
活動内容	いつ		(日程、時間、季節、回数 など) *
	どこで		(活動エリア、具体的な場所、必要な環境 など) *
	だれが		(主催者、スタッフ、講師、参加者 など) *
	なにをどのように		(プログラム内容、実施方法 など) *
その他	(対象、PR方法、必要物品 など) *		

②寺池公園でやってみたい企画を、各自、提案シートに記入し提出。

提案のあった企画は、今後のまちづくり活動を行う上での参考とし、受講生には、その検討・実践の場である「まちづくり会議」に、一人でも多く参加していただけるように、呼び掛けを行います。

寺池公園 (まちの話題)

住民の一人がボランティアで積極的に手入れを行い、
以前の鬱蒼とした雰囲気、現在は、明るく変わりました。



①樹木が光を遮り、公園内が鬱蒼としていた。



②手入れにより、雰囲気が明るくなった。

以前から、鬱蒼としていて立ち寄りにくい、雰囲気が暗いといった声がありましたが、
住民の活動により、公園の雰囲気が明るくなり、様々な活用が期待できる状態となりました。 29